

中学校

「全国学力・学習状況調査」豊田市の状況について

令和8年度の結果から

本調査は、生徒の学力や学習状況を把握し、その結果を今後の教育活動に役立てていくことを目的としています。令和8年度の結果から分かる生徒の状況を報告します。

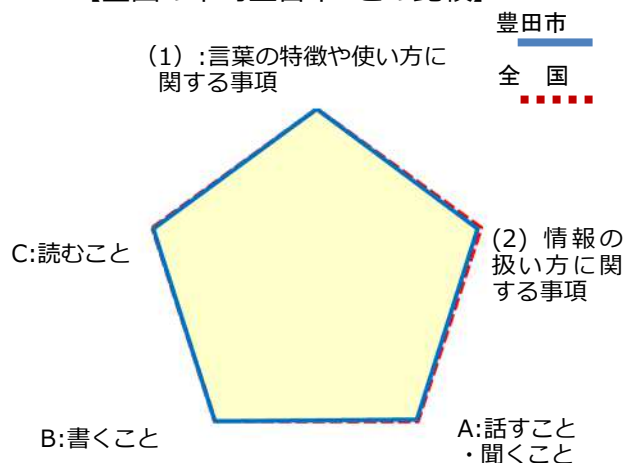
【調査の概要】	調査実施日	令和8年4月23日（木）	英語3技能は4月20～24日
		英語「話すこと」は4月24日～5月27日	
	調査対象	中学3年生 29校	
	調査事項	教科に関する調査（国語・数学・英語）	
		質問調査（学習・生活）	

教科に関する調査の結果

< 国語 >

全国平均とほぼ同じ結果でした

【全国の平均正答率*との比較】



【こんなところができています】

- ・ 目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる (A)
- ・ 段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することができる (B)

【こんなところが課題です】

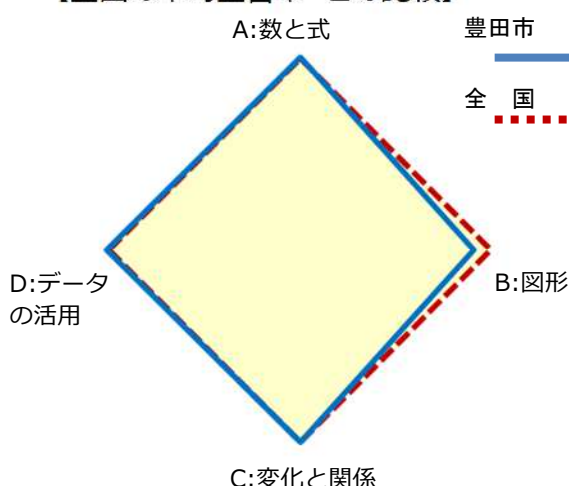
- ・ 文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができる (1)
- ・ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる (A)
- ・ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる (2)

(A) 話すこと・聞くこと (B) 書くこと (C) 読むこと
(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項
(2) 情報の扱い方にに関する事項

< 数学 >

全国平均とほぼ同じ結果でした

【全国の平均正答率*との比較】



【こんなところができています】

- ・ 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる (C)
- ・ 箱ひげ図と四分位数の対応について理解している (D)

【こんなところが課題です】

- ・ 筋道を立てて考え、証明することができる (B)
- ・ 具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことができる (B)
- ・ 2直線が平行になるための条件を理解している (B)

(A) 数と式 (B) 図形 (C) 変化と関係 (D) データの活用

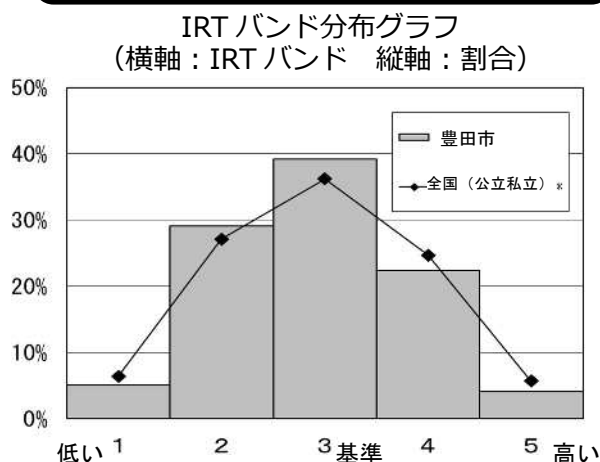
*正答率…テストを100点満点に換算した数値

グラフは全国平均を100としたときの、豊田市の数値を表しています

< 英語 >

【全国の得点分布との比較】

全国平均よりやや低い（2・3の生徒が多い）結果でした



※今年度から、英語は学習用タブレットを使った回答方式（CBT）になり、結果の公表方法が変わりました。IRT バンドとは、学力の到達水準を5段階で示した指標です。3が基準、5が最も高い水準です。

【こんなところできています】

- ・音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている（A）
- ・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができる（A）

【こんなところが課題です】

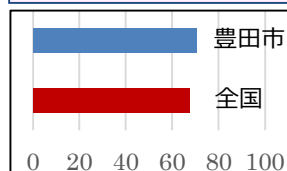
- ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書いたり、話したりすることができる（D,E）
- ・社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができる（E）

（A）聞くこと （B）読むこと
（C）話すこと〔やりとり〕
（D）話すこと〔発表〕 （E）書くこと

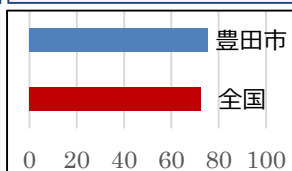
学習および生活状況に関する質問調査の結果

< よい傾向 >

自分の学級では、人と違う意見を言っても否定されない

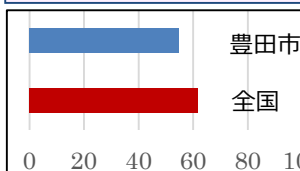


地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う

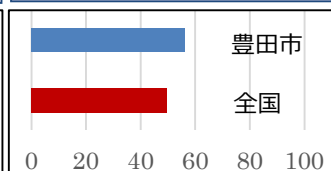


< 改善を要する傾向 >

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強している（塾・家庭教師・インターネットを含む）



普段（月曜日から金曜日）、1日当たり3時間以上スマートフォンやパソコン、タブレット、テレビ等でSNSや動画視聴などをする



< 上記以外の傾向 >（全国平均と比べて、○はよい傾向、▲は改善を要する傾向）

- 自分には、よいところがあると思う
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある
- ▲課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む

つながりの中で、誰もが学び合いながら、自分らしく豊かな人生を切り開くために

豊田市では

- ・学ぶ楽しさを感じながら、自分らしく学べる授業づくりと環境の整備を進めます
- ・子どもたちの主体性や自ら考え判断する力を伸ばす探究的な学びを大切にしながら、自他を尊重し思いや考えを伝え合う活動を進めます
- ・家庭・学校・地域が連携し、地域全体で子どもの学びを支える地域ぐるみの教育の実現に努めます

学校では

- ・理解を深め、学習内容の定着を図るため、学んだことを意識して活用する機会を増やします
- ・問題解決型の授業に取り組み、見通しをもって学習を進める中で、自分の考えを話したり書いたりして共有し、新しい考え方や課題に気づき主体的に学べるよう支援します

家庭では

- ・家庭での生活や将来のこと等、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしましょう
- ・生活習慣を整え、計画的に学習を進めるなど、お子さんが自律した生活を送れるように支えていきましょう
- ・SNSや動画の視聴等 ICT 機器のよりよい使い方を確認しましょう